

国語科学習指導案

廿日市市立廿日市小学校 由 田 広 富

1 日 時 平成18年6月21日(水)～30日(金)

2 学年・学級 第2学年1組 28名

3 単元名 じゅんじょに気をつけて読もう「たんぽぽ」

4 単元について

- 本単元は、学習指導要領「読むこと」の指導事項イ「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」を受け、説明的な文章における基礎的、基本的な読み取り方を身に付けさせることをねらいとしている。本教材文「たんぽぽ」は、2学年で初めて出会う説明的な文章であり、書かれている内容のまとまりや順序に気をつけて読み取ることに重点が置かれている。そのため、たんぽぽの花の仕組みや仲間の増やし方などを図や絵を使って効果的に説明したり、叙述の仕方や用語が児童に分かりやすいものを使ったりして、説明の順序を的確に捉えやすく工夫されている。

また、本単元を学習することにより、児童は、身に付けた読み取り方を活かし、身近に広がる新しい世界を知る喜びを得たり、他の動植物に関心を持ったりして、それらについて書かれた本や文章を読む学習へと興味を広げることも期待できる。

- 本学級の児童は、1学年の説明的な文章「いろいろなふね」では、書いてあることを正しく読み取ったり、「じゃんけん」では、どうしてかということに気をつけて読んだりする学習をしてきた。それらにおいて、児童は、一文一文を理解することはできるものの、内容を順を追ってとらえることが十分にできなかった。C R Tの結果からも、時間や事柄などの順序を考えながら内容を読む力の定着が不十分であることが分かった。また、読解力の個人差が大きく、言葉のまとまりとして読んだり、書かれている内容を理解したりするのに時間のかかる児童がいる。主語・述語の照応については、ほとんどの児童ができるが、十分とは言えない児童が数名いる。
- 指導に当たっては、先ず、「たんぽぽについて知らなかったことをたくさん見付けよう。」と投げかけ、学習への期待を持たせながら、教材文を読み進めさせていく。その際、丁寧に確かな読み取りができるように、時間の順序を表す言葉に注意したり、大事な言葉を使って短く文にまとめたり、挿絵と文章を組み合わせたりしながら、ワークシートにまとめさせていきたい。この時、活動の個人差を考慮しながら、個別指導を大切に進める。特に、ワークシートの作成に当たっては、何が・どのように・どこまでできればよいかという到達目標を明確に示し、児童が自らの学習状況を確認できるようにする。そして、その結果に応じて、発展的な問題に挑戦したり、補足的な問題でもう一度じっくり考え直したりできるような内容構成を工夫する。また、把握した児童の学習状況を基に、常に、指導と評価の一体化を図っていきたい。

5 単元の目標

- 順序を考えながら説明的な文章を読み取ろうとする。【関心・意欲・態度】
まとまりや順序に気をつけて、説明されている事柄を読み取る。【読むこと】イ
- 主語・述語の照応に注意して、読む。【言語事項】エ(ア)

6 単元の評価の規準

国語への 関心・意欲・態度	読 む 能 力	言語についての 知識・理解・技能
たんぽぽに興味を持ち、順序を考えながら説明的な文章を読み取ろうとしている。生き物について書かれている本を探して、楽しんで読もうとしている。	時間や事柄などの順序を表す言葉を見付けている。 時間や事柄などの順序を表す言葉の働きを理解している。 何が、どんな順序で書かれていたのかをとらえている。	主語・述語の関係に注意しながら読んでいる。

7 指導と評価の計画（全 10 時間）

次	時	学 習 内 容	評 価				
			関	読	言	評 価 規 準	評価方法
第一次 (二時間)		・たんぽぽについて知っていること や見た経験などを書き出して、 発表する。				・たんぽぽについて知っているこ とを積極的に書き出したり、話 したりしようとしている。(関)	ワークシート 発言
		・全文を通読し、初発の感想を書 く。 ・感想を出し合って、学習の見通 しを持つ。				・学習内容に興味を持って、取り 組もうとしている。(関)	行動観察 ワークシート
第二次 (六時間)		・たんぽぽの各部分の名前を知り、 段落ごとに書かれていることの 大体をとらえる。				・絵と文章を結びつけて、どの段 落に、たんぽぽのどの部分のこ とが書いてあるかをとらえてい る。(読)	ワークシート
		・たんぽぽがじょうぶな草である といわれる理由や根の様子を順 序に気を付けて読み取る。				・たんぽぽのどのようなところか ら、じょうぶな草であるといわ れているのかその理由を読み取 っている。(読)	ワークシート
		・時間の経過を表す言葉を見付 け、時間の順序をとらえる。 ・時間の経過による、たんぽぽの 花の開閉の様子を読み取る。				・時間の経過を表す言葉に気を付 けて、花の開閉の変化を読み取 っている。(読)	ワークシート
		・挿絵と対応させながら、たんぽ ぽの花はどんな仕組みになっ ているのかを順序に気を付けて読 み取る。				・挿絵と照らし合わせながら、花 の仕組みについて読み取ってい る。(読)	ワークシート
		・たんぽぽの実の成熟にあわせて 変化する茎の様子を、順序を追 って読み取る。 ・たんぽぽの綿毛が飛んで、芽を 出すまでの様子を読み取る。				・実の成熟と茎との関係や綿毛が 開いて飛んでいく様子を時間の 経過と合わせて読み取っている。 (読)	ワークシート
		・たんぽぽがどのようにして仲間 を増やしていくのかを順序に気 を付けて文章にまとめる。			○	・たんぽぽの仲間の増やし方を順 序よく読み取り、文章にまとめ ている。(読) ・主語・述語の照応に注意して読 んでいる。(言)	ワークシート
第三次 (二時間)		・生き物について書かれた本の中 から読みたいものを探して読む。				・自分が読みたい生き物について 書かれた本を探して、楽しんで 読もうとしている。(関)	行動観察
		・読んだ本や文章の感想を伝え合 う。				・自分が読んだ生き物の本の感想 を友達に紹介しようとしている。 (関)	行動観察

8 学習の展開〔第一次 時〕

(1) 本時の目標

- ・たんぼぼへの関心を高め、これからの学習への意欲を持つ。

(2) 観点別評価規準

- ・たんぼぼについて知っていることを積極的に書き出したり、話したりしようとしている。(関)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (・つまずきへの支援)	評価規準・(方法)
1. たんぼぼの写真を見て、思ったことを出し合う。 2. 本時の学習のめあてをつかむ。	○児童が既に持っている情報を引き出すとともに、読解に対して意欲を持つことができるようにする。	
たんぼぼについて、知っていることをみんなで出し合おう。		
3. たんぼぼについて知っていることをワークシートに書く。	○ワークシート(1)に、イメージマップとして、思いついたことから自由に書き込ませる。 ●うまく書けない児童には、「どこで見た。」「色は～、形は～、さわったら～。」「たんぼぼでどんなことをした。」などと問いかけ、イメージしやすいヒントを出す。	関 たんぼぼについて知っていることを積極的に書き出そうとしている。(ワークシート)
4. 書き出したことを発表する。	○児童が出し合ったことを、項目別にまとめて板書する。 ○たんぼぼは、様々な場所に咲いていることを後の第 段落の学習を見通して押さえておく。	関 たんぼぼについて書いたことを積極的に話そうとしている。(行動観察)
5. 本時の学習を振り返る。	○自己評価をさせ、次時への学習意欲を持たせる。	
6. 次時の予告を聞く。	○たんぼぼについて書かれた文章を読んでいくことを伝え、「どんなことが書いてあるのだろうね。」と呼びかけて、児童に学習の意欲を持たせる。	

8 学習の展開〔第一次 時〕

(1) 本時の目標

- ・教材文を通読して，初発の感想をもとに，学習の見通しを持つ。

(2) 観点別評価規準

- ・学習内容に興味を持って，取り組もうとしている。(関)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (● つまづきへの支援)	評価規準・(方法)
1. 前時の学習を振り返る。 2. 本時の学習のめあてをつかむ。 「たんぽぽ」を読んで，はじめてしたことを出し合おう。	○ ワークシート(1)を見ながら，前時の学習を思い出させる。 ○ 新出漢字や難意語に気を付けながら教師が範読した後，全文を通読させる。 ○ 「初めて知って驚いたこと」「不思議に思ったこと」「もっと知りたいこと」などの観点を示し，ワークシート(2)に書かせる。 ● 感想をまとめられない児童には，友達の感想を参考にしたり，文章中の言葉や数字，あるいは絵や写真を手がかりにしたりするとよいことを助言する。 ○ 児童の出し合った感想を，観点ごとに整理して板書する。 ○ 友達の感想を聞いて，新しく発見したことも書き加えさせる。 ○ 自己評価をさせ，次時への学習意欲を持たせる。	関 学習内容に興味を持って，取り組もうとしている。 (行動観察)
3. 全文を通読する。 4. 初発の感想をワークシートに書く。 5. 感想を出し合い，学習の見通しを持つ。 6. 漢字や語句の学習をする。 7. 本時の学習を振り返る。 8. 次時の予告を聞く。		

8 学習の展開〔第二次 時〕

(1) 本時の目標

- ・段落ごとに話題となっているものをつかみ，書かれていることの大体をとらえる。

(2) 観点別評価規準

- ・絵と文章を結びつけて，どの段落に，たんぼぼのどの部分のことが書いてあるかをとらえている。
(読)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (●つまずきへの支援)	評価規準・(方法)
1. 前時の学習を振り返る。 2. 本時の学習のめあてをつかむ。	○ワークシート(2)を見ながら，前時の学習を思い出させる。 「たんぼぼ」には，まとまりごとにどんなことが書かれているのか見つけよう。	
3. 全文を通読する。 4. 文章のまとまりごとに番号をつけ，まとまりごとに音読する。 5. たんぼぼの絵を見て，それぞれの部分の名前を確かめる。 6. それぞれの文章のまとまりごとに事柄の大体をワークシートに書き，発表する。	○主語・述語に注意させ，どの部分にどんなことが書いてあるかを意識させながら音読させる。 ○一字下げて書かれているところが文章のまとまりの区切りであることを簡単に説明し，児童と確認しながら段落番号をつけさせる。 ○たんぼぼの掛け図を利用し，それぞれの部分の名前を確認させる。 ○たんぼぼの各部分の名前を手がかりに，ワークシート(3)でとらえさせる。 ●うまく内容をとらえられない児童には，段落ごとに再度音読させ，そこに出てきたたんぼぼの部分の名前を丸で囲ませて考えさせる。また，友達の考えも参考にさせる。	絵と文章を結びつけて，どの段落に，たんぼぼのどの部分のことが書いてあるかをとらえている。 (ワークシート)
7. 本時の学習を振り返る。 8. 次時の予告を聞く。	○自己評価をさせ，次時への学習意欲を持たせる。	

8 学習の展開〔第二次 時〕

(1) 本時の目標

- ・たんぽぽがじょうぶな草であるといわれる理由や根の様子を順序に気を付けて読み取る。

(2) 観点別評価規準

- ・たんぽぽのどのようなところから，じょうぶな草であるといわれているのかその理由を読み取っている。(読)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (・ つまづきへの支援)	評価規準・(方法)
1. 前時の学習を振り返る。 2. 本時の学習のめあてをつかむ。	○ ワークシート(3)を見ながら，前時の学習を思い出させる。	
たんぽぽが，じょうぶなわけを読みとろう。		
3. 形式段落 を音読する。 4. 形式段落 を読んで，たんぽぽがじょうぶな草であるといわれる理由を読み取る。 5. 形式段落 を音読する。 6. 形式段落 を読んで，根の様子を読み取る。	○ 音読後，順を追って教科書の叙述が答えとなる問いかけをし，ワークシート(4)に記入させ，内容を確実にとらえさせる。 ○ 読んで気付いたことや感じたことをワークシート(4)に記入させ，発表させる。根の掛け図を利用し，絵と結びつけながら板書する。 ● 「じょうぶな」「ふむ」「つみとる」などの言葉の意味を押さえさせ，たんぽぽの様子を想像させる。挿絵を手がかりに，根の長さや太さに目を向けさせる。	国 たんぽぽがじょうぶな草であるといわれる理由や根の様子を読み取っている。 (ワークシート)
7. 筆者が説明の仕方を工夫していることに気付く。	○ 筆者が実際に観察したことを書いた説明文であることを知らせた上で，たんぽぽがじょうぶな草である理由を述べている箇所や，具体的な数字を挙げている点に着目するように促す。	
8. 本時の学習を振り返る。	○ 自己評価をさせ，次時への学習意欲を持たせる。	
9. 次時の予告を聞く。		

8 学習の展開〔第二次 時〕

(1) 本時の目標

- ・時間の経過を表す言葉を押さえ、花の開閉についての説明を読み取る。

(2) 観点別評価規準

- ・時間の経過を表す言葉に気を付けて、花の開閉の変化を読み取っている。(読)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (・つまづきへの支援)	評価規準・(方法)
1. 前時の学習を振り返る。 2. 本時の学習のめあてをつかむ。 たんぽぽの花が、いつ、どうなるのかを読みとろう。	○前時の学習状況に応じて、たしかめコースやチャレンジコースの問題に取り組みせ、補充・発展を図る。ワークシート(5)うら	
3. 形式段落 を音読する。 4. 形式段落 を読んで、時間の経過を表す言葉を出し合い、時間の順序をとらえる。 5. 時間の経過にともなう、花の開閉の様子を読み取る。 6. 筆者が説明の仕方を工夫していることに気付く。 7. 本時の学習を振り返る。 8. 次時の予告を聞く。	○時間の経過を表す言葉を出し合わせ、叙述の順に並べさせる。事前に、それぞれの言葉をカードに書いて準備しておく。 ○時間の経過を表す言葉に、その時の花の様子を対応させて整理させ、ワークシート(5)にまとめさせる。 ○「花は」の主語が省略されている部分があることに注意させる。 ●どんな時に花がどうなるかをとらえるために、「とじる」「ひらく」などの動作化をさせる。 ○時間の経過を表す言葉によって、順序が示されていることを確認させる。 ○自己評価をさせ、次時への学習意欲を持たせる。	時間の経過を表す言葉に気を付けて、花の開閉の変化を読み取っている。 (ワークシート)

8 学習の展開〔第二次 時〕

(1) 本時の目標

- ・挿絵と対応させながら、たんぽぽの花の仕組みについての説明を順序に気を付けて読み取る。

(2) 観点別評価規準

- ・挿絵と照らし合わせながら、花の仕組みについて読み取っている。(読)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (・つまずきへの支援)	評価規準・(方法)
1. 前時の学習を振り返る。 2. 本時の学習のめあてをつかむ。	○ 前時の学習状況に応じて、たしかめコースやチャレンジコースの問題に取り組みせ、補充・発展を図る。ワークシート(6)うら たんぽぽの花をよく見たら、どうなっているのかを読みとろう。	
3. 形式段落 を音読する。 4. 形式段落 は、たんぽぽの何について書かれているかを考える。 5. 花の仕組みについて読み取る。	○ 花の仕組みについて書かれていることを確認させる。 ○ 「一つの花のように見える(もの)」と「小さな花」が表すものを花の掛け図の絵と対応させながら読み取らせ、ワークシート(6)にまとめさせる。 ● 可能であれば、実際に花を準備し、小さな花の部分をつまんで取ってみて理解させる。 ○ 「小さな花のあつまり」で「百八十も」あるという事実への驚きを、挿絵から具体的にとらえさせる。 ○ 挿絵の中で実がでる部分に印をつけ、「小さな花に、みが一つずつできる」ということをとらえさせる。	挿絵と照らし合わせながら、花の仕組みについて読み取っている。(ワークシート)
6. 筆者が説明の仕方を工夫していることに気付く。 7. 本時の学習を振り返る。 8. 次時の予告を聞く。	○ 形式段落 の読者に呼びかける形を受けて、形式段落 で解説を書いていることに気付かせる。 ○ 自己評価をさせ、次時への学習意欲を持たせる。	

8 学習の展開〔第二次 時〕

(1) 本時の目標

- ・たんぽぽの実が熟し，綿毛が飛んでいく様子を事柄の順序に気を付けて読み取る。

(2) 観点別評価規準

- ・実の成熟と茎との関係や綿毛が開いて飛んでいく様子を時間の経過と合わせて読み取っている。
(読)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (● つまづきへの支援)	評価規準・(方法)
1. 前時の学習を振り返る。	○ 前時の学習状況に応じて，たしかめコースやチャレンジコースの問題に取り組ませ，補充・発展を図る。ワークシート(7)うら	
2. 本時の学習のめあてをつかむ。		
たんぽぽのみが，どんなふうにかわっていくのかを読みとろう。		
3. 形式段落 を音読する。	○ 実・綿毛の説明についての読み取りをすることを確認させる。 ○ 「みがじゅくすまで」「みがじゅくすと」の言葉に着目し，実の成熟と茎の変化を，時間的経過を押さえながらワークシート(7)にまとめさせる。 ○ 実の成熟によって茎が倒れたり起き上がったりする理由について考えを出し合わせ，植物の不思議を感じ取らせる。	
4. 形式段落 は，たんぽぽの何について書かれているかを考える。		
5. 形式段落 から，実の成熟と茎との関係を読み取る。		
6. 形式段落 から，綿毛の変化の様子を，風や茎との関係を押さえながら読み取る。		
7. 本時の学習を振り返る。		
8. 次時の予告を聞く。	○ 自己評価をさせ，次時への学習意欲を持たせる。	実の成熟と茎との関係や，綿毛が開いて飛んでいく様子を時間の経過と合わせて読み取っている。 (ワークシート)

8 学習の展開〔第二次 時〕

(1) 本時の目標

- ・たんぽぽの仲間の増やし方を順序に気を付けて文章にまとめる。
- ・主語・述語に気を付けて読む。

(2) 観点別評価規準

- ・たんぽぽの仲間の増やし方を順序よく読み取り，文章にまとめている。(読)
- ・主語・述語に気を付けてまとめている。(言)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (● つまずきへの支援)	評価規準・(方法)
1. 前時の学習を振り返る。	○ 前時の学習状況に応じて，たしかめコースやチャレンジコースの問題に取り組ませ，補充・発展を図る。ワークシート(8)うら	たんぽぽの仲間の増やし方を順序よく読み取り，文章にまとめている。(ワークシート) 主語・述語に気を付けて書いてまとめている。(ワークシート)
2. 本時の学習のめあてをつかむ。		
たんぽぽが，どのようにしてなかまをふやしていくのか書いてまとめよう。		
3. 形式段落を読んで，たんぽぽの仲間の増やし方についてまとめることを知る。	○ 冒頭「このようにして」が，前段落までの内容を受けていることを押さえさせる。 ○ 「いろいろなところに生え」が，時で取り上げた様々な場所で見たと経験と結びつくことに気付かせる。	
4. 全文を通して，何が，どんな順序で書いてあったかを確認する。	○ これまでのワークシートをもとに，段落ごとの内容を確認させる。	
5. たんぽぽはどのようにして仲間を増やしていくのかを，順序にそって文章にまとめる。	○ 花 → 実 → 綿毛 → 種 → 芽の時間経過に気を付け，ワークシート(8)にまとめさせる。 ● 児童の実態に応じて，段階的なまとめ方が選べるワークシートを準備しておく。	
6. 本時の学習を振り返る。	○ 自己評価をさせ，次時への学習意欲を持たせる。	
7. 次時の予告を聞く。		

8 学習の展開〔第三次 時〕

(1) 本時の目標

- ・生き物について書かれた本や文章を、興味を持って探して読む。

(2) 観点別評価規準

- ・自分が読みたい生き物について書かれた本を探して、楽しんで読もうとしている。(関)
- ・自分が読んだ生き物の本の感想を友達に紹介しようとしている。(関)

(3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 (● つまづき へ の 支 援)	評 価 規 準 ・ (方 法)
1. 前時の学習を振り返る。	○ 前時の学習状況に応じて、たしかめコースやチャレンジコースの問題に取り組みせ、補充・発展を図る。ワークシート(9)まとめ	関 自分が読みたい生き物について書かれた本を探して、楽しんで読もうとしている。 (行動観察)
2. 本時の学習のめあてをつかむ。		
生きものについて書かれた本を読んで、しょうかいし合おう。		
3. 生きものについて書かれた本や文章の中から、読みたいものを探す。	○ 図書室の利用の仕方について簡単に説明し、生きものに関する本の棚の場所を伝える。 ○ 教科書 p.107「図書かんへ行こう」や付録「系で生きる虫たち」などを活用させる。 ● 読みたい本を選べない児童のために、事前に、動物や植物などの本を何冊か用意して資料コーナーを作ったり、個別に本の紹介をする。	
4. 選んだ本や文章を読む。	○ 家庭学習を含めて、読書のための十分な時間を確保する。	
5. 読んだ本や文章の感想を伝え合う。	○ 友達が読んだ本やその感想を聞くことで、さらに読書への興味を広げさせる。	関 自分が読んだ生き物の本の感想を友達に紹介しようとしている。 (行動観察)
6. これまでの学習を振り返る。	○ 自己評価をさせ、これまでの学習の達成感を持たせる。	

たんぽぽ



名前)

今日のめあて

書き出してみよう。

について、知っていることを

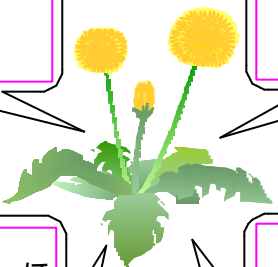
どこで見ましたか。
どんな色ですか。どんな形ですか。
たんぽぽをつかって、どんなことをしましたか。

どこで

どんなことをした

どんな色・形

ほかに



今日のべん強をふりかえろう。



先生から

わけ

たんぽぽ

名前)

今日のめあて

「たんぽぽ」を読んで、
を書いてみよう。

じゅ

はじめてしたこと。
おどろいたこと。
ふしぎに思ったこと。
もっと、知りたいこと。



この「たんぽぽ」は、せつめいのじゅんじょが、よくわかりましたか。

今日のべん強をふりかえろう。



わけ

先生から

たんぽぽ

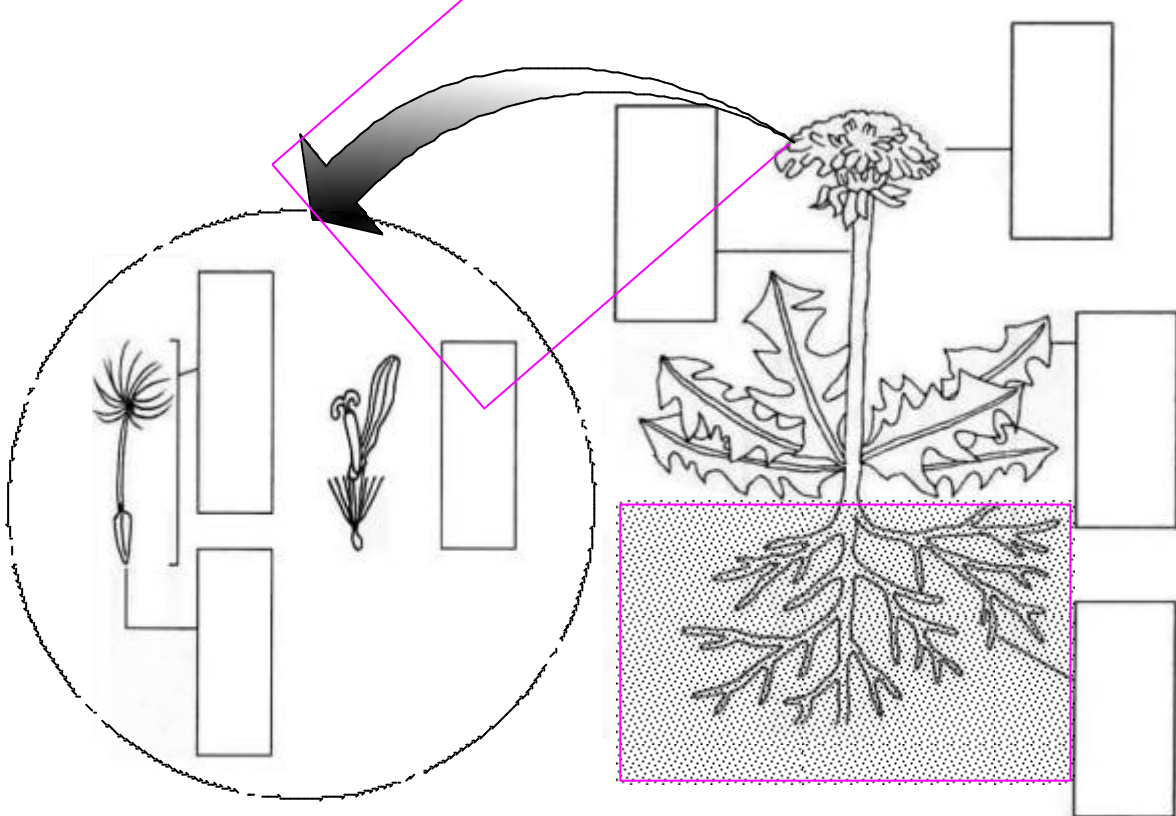
名前()

今日のめあて

「たんぽぽ」には、
書かれているのか見つけよう。 に が

1 たんぽぽのそれぞれのぶぶんの
名前を書きましょう。

2 それぞれの話のまとまりに、
たんぽぽのどのぶぶんのこと
が書かれていますか。



はのこと・ねのこと									
花のこと									
み									
のこと・へきのこと									

今日のべん強をふりかえろう。



先生から

わけ

たんぽぽ

名前)

今日のめあて

たんぽぽが、

わけを読みとろう。

1 たんぽぽは、どんなふうじょうぶだと書いてありますか。

2 たんぽぽが、じょうぶなわけを書きましょう。

3 たんぽぽのねのことで、わかったことや思ったことを書きこみましょう。

(思ったこと)

(わかったこと)



今日のべん強をふりかえろう。



先生から

わけ

ワークシート(5)うら

() たしかめコースへ
() チャレンジコースへ

たしかめコース

たんぽぽのねについて、思い出しましよう。

①

たんぽぽ

は、

どんな

[]

草です。

じょうぶな

②

は

が、

どうなっても

[]

たり、

また

生えてきます。

ふまれ
つみとられ

③

ね

が、

何を

どうなっても

[]

を

つくり出すのです。

生きて
新しいは

④

たんぽぽ

は、

ねが

どうだから

[]

から じょうぶなのです。

長い

チャレンジコース

かえるのくらしについて、あてはまることばを書きこみましよう。

冬の間、かえるは、土の中にもぐって、ねむっています。春になると、かえるは、目をさまして、土の中から出てきます。めすのかえるは、日あたりのよい水の中にたまごをつみます。春から夏の間、かえるは、土の上をとびはねたり、水の中をおよいだりして、げんきにくらします。

(昭和五十五年度版 光村図書 国語二上より編集)

冬の間、

何は

は、土の中で

どうしている

[]

。

かえる

ねむっていま

いつ

になると

かえる

は、土の中から

どうする

[]

。

春
出てきます



いつ

[] から

いつ

[] の間、

かえる

は、土の上を

どうしたり

[]

何は

は、たまごを

どうする

[]

。

めすのかえる
つみます

春
夏

とびはね

たり、

どこを

[] をおよいだりして、げんきにくらします。

水の中

たんぽぽ

名前()

今日のめあて

たんぽぽの が、いつ、どうなるのかを
読みとろう。

1 たんぽぽの花は、どんなときに、どうなりますか。

どんなとき		どうなる	
			
			
			
			

2 ③のまとりぜんぶを読んで、どんなことがわかりましたか。

今日のべん強をふりかえろう。



わけ

先生から

ワークシート(6)うら

() たしかめコースへ
() チャレンジコースへ

たしかめコース

たんぽぽの花のしくみを思い出ししょう。

③のまとまりには、() ()の文があります。

④	③	②	①
いつ つぎの日、	いつ	夕方 いつ	春の いつ
どうなるか	どうなるか	どうなるか	どんな日
↓	↓	↓	↓
花	花	花	花
は、	は、	は、	が、
また	どうなる	どうなる	さきます
どうなる	どうなる	どうなる	どうなる
。 ひびきます	。 よるのあいだ とじています	。 日がかけると とじて しまします	。 晴れた

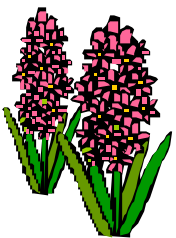
チャレンジコース

ヒヤシンスのそだつじゅんになるように、あてはまることばを書きこみましょう。

ヒヤシンスは、どのようにしてそだつのでしょうか。
秋になってすずしくなったころ、きゅうこんを土の中にうえます。
きゅうこんは、土の中で水ぶんをすって、はじめにねを出します。
つめたい北風がふくころ、めは、土をおしわけてじめんに出てきます。
冬のさむさをじつとこらえ、つぼみが少しずつそだっていきま
す。あたたかい春になると、はがぐんぐんとのび、やがてくきの先
にみごとな花がさきます。

(昭和六十一年度版 東京書籍 国語二上より編集)

いつ	いつ	いつ
きゅうこん	め	花
は、	は、	が、
はじめに	じめんに	
どうなる	どうなる	どうなる
。 秋になつてす ずしくなつた	。 つめたい北風 がふく 出てきます	。 あたたかい春 さきます



たんぽぽ

名前()

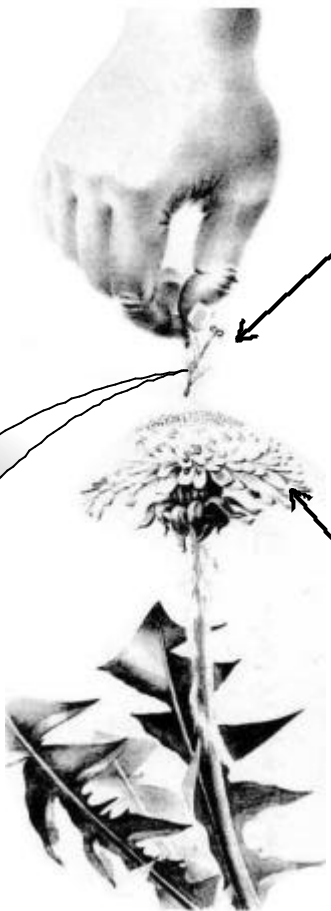
今日のめあて

たんぽぽの をよく見たら、どうなっているのかを読みとろう。

1 花について、それぞれあつことばを書きましょう。



のように見える(もの)
のあつまり



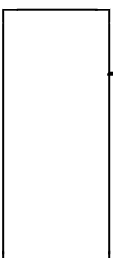
に
なるところ



数えてみたら、

くらいある。

2 みができるところは、どこですか。右の絵に。をつけましょう。



今日のべん強をふりかえろう。



わけ

先生から

ワークシート(7)うら

() たしかめコースへ
() チャレンジコースへ

たしかめコース

たんぽぽの花が、どんなつくりになっていたのかを思い出しましょう。

① 一つの花のように

見えるのは、

のあつまりです。

何の

②

数えたら、

どれくらい

くらいあります。

どんなもの

この数は、これより

ものも、

[]

ものもあります。

何の

の二つ二つに、

何が

ができます。



小さな花

百八十

多い

少ない

小さな花

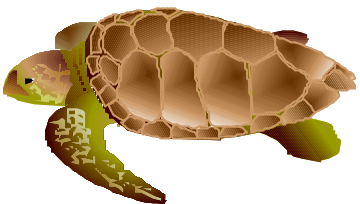
み

チャレンジコース

アカウミガメがしたことの数に、()にばんごうを書きこみましょう。

アカウミガメのおかあさんは、たまごをうむために、すなはまにやってきます。はじめに、おいをかぎます。つぎに、おなかのこうらで、あたたかいばしょをさがします。こうして、たまごをうむばしょがきまると、まず、前足であなをほり、つぎに、後ろ足であなをほります。あなができあがると、たまごをうみおとします。さいごに、たまごをうんだあなを、しずかに、ていねいに、しっかりとめます。

(平成十二年度版 大阪書籍 国語二上より編集)



() あたたかいばしょをさがす。

() たまごをうんだあなをうめる。

() 前足と後ろ足であなをほる。

() すなはまにやってきました、おいをかぐ。

() たまごをうみおとす。

4

1

3

5

2

たんぽぽ

名前

今日のめあて

たんぽぽの が、どんなふうにかわって
いくのかを読みとろう。

1 みがじゅくす前とじゅくしたときでは、たんぽぽのくきのよう
すは、どのようにかわりますか。

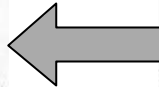
みのようす	くきのようす
みがじゅくす) (	くきは、
みがじゅくす) (	くきは、

2 わた毛とくきのかんけいをまとめましょう。

くきが高くなるのは、なぜでしょう。



そのわけは、



晴れた日に、わた毛がひらくのは、なぜでしょう。

そのわけは、

今日のべん強をふりかえろう。



先生から

わけ

ワークシート(8)うら

(たしかめコースへ
チャレンジコースへ

たんぽぽ

名前()

今日のめあて

たんぽぽが、どのようにして
を
ふやしていくのかを書いてまとめよう。



べん強したことを思い出しながら、つづきを書いていきましよう。

花がしぼむと、

みがじゅくすと、くきは

晴れた日に、

風があたると、わた毛は、

わた毛は、土におちると、

このようにして、

今日のべん強をふりかえろう。



先生から

わけ



ワークシート(9)まとめ

() たしかめコースへ
() チャレンジコースへ

たしかめコース

たんぽぽが、どのようにしてなかまをふやしていくのかを
思い出しましょう。

花がしぼむと、
がそだつていきます。

何が

がじゅくすと、くきはおき上がって、

どんな

日に、
がひらきます。

何が

があたりと、

はふきとばされ、

何に

にのつて遠くへ行きます。

2017

わた毛は、
におち、

わた毛についている
が、めを出します。

何が

このように、

何を

たんぽぽは、
をふやしていくのです。

チャレンジコース

たんぽぽについてのせつめいをまとまりとじゅんじよに氣をつけて、みじかい文にまとめてみましょう。

ねは、

花は、

なかまをふやすために、

み

升

高くのびます

晴れた

わた毛

風
わた毛

風

±

たね

なかま

(れい)

とても長く
て、百センチ
メートルくら
いあります。
そのために、
たんぽぽは、
じょうぶで
す。

小さな花が、
百八十くらい
もあつまって
できていま
す。その小
な花に、み
一つずつで
き、やがて
す。ねにな
りま

晴れた日に、
高きの上でわたく
毛がひらきま
す。
わた毛は、風
にのつて遠く
へ行きます。
いろいろなと
ころで土にお
ちたねが、
やがてめを出
します。